

科目名		授業形態	担当教員名	
総合臨床工学演習Ⅱ		講義	阪本 壮志・郡司嶋 一輝	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
臨床工学技士国家試験合格のための対策講座を開講し、知識の整理を行うことで、国家試験に合格できる学力の修得を目指す。グループワークを活用し、能動的に学習していくことを目指す。				
授業の到達目標				
システム制御工学の分野の基礎的な概念を理解し、臨床工学技士の国家試験合格程度の学力を有する。				
授業計画				
回	内容			
1	電気工学演習(1)直流回路(合成抵抗、倍率器・分流器、電力)			
2	電気工学演習(2)直流回路(フィルタ回路、過渡現象)			
3	電気工学演習(3)交流回路(正弦波交流、ベクトル表示)			
4	電気工学演習(4)交流回路(直列回路、並列回路、共振)			
5	電気工学演習(5)電磁気(電界)			
6	電気工学演習(6)電磁気(磁界)			
7	電気工学演習(7)まとめ			
8	電子工学演習(1)半導体			
9	電子工学演習(2)ダイオード			
10	電子工学演習(3)ツェナーダイオード			
11	電子工学演習(4)整流平滑回路			
12	電子工学演習(5)波形整形回路			
13	電子工学演習(6)トランジスタ			
14	電子工学演習(7)オペアンプ			
15	電子工学演習(8)まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	90%	5回実施する模擬試験の上位3回の平均で評価する。		
レポート・課題				
小テスト	10%			
平常点				
その他				
自由記載	11月以降に実施する5回の模擬試験を採点対象とする。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
第34回～38回臨床工学技士国家試験問題解説集		日本臨床工学技士教育施設協議会	へるす出版	
臨床工学技士標準テキスト 第4版		小野哲章	金原出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				
次年度の前期に再試験は実施しない。				